



Topics

補助金情報

『軽減税率対策補助金』とは？

消費税軽減税率制度への対応が必要となる中小企業・小規模事業者等が、複数税率対応レジの導入や、受発注システムの改修などを行うにあたって、その経費の一部を補助する制度です。

補助事業の完了期限が

2019年9月30日
に延長されました！

『税制・補助金セミナー』開催決定！

経済産業省中部経済産業局より講師をお招きし、「平成29年度補正予算、平成30年度予算・税制改正」について、以下の日程でセミナーを開催します。詳細が決まり次第、弊社HPに掲載しますので、ぜひご確認ください。

金沢会場

4月11日(水)14:00～
金沢勤労者プラザ

富山会場

4月12日(木)14:00～
北日本新聞社 越中座



富山県いきいき物産 株式会社 様

(本社：富山県富山市)

Case Study

補助金活用で、リスク軽減と新制度対応の実現

同社は、富山県内や首都圏において富山のアンテナショップを運営されています。2016年6月には『日本橋とやま館』を、同年7月には富山駅前に『ととやま』を新たにオープンされました。富山の情報発信拠点として特産品の販売振興をとおり、富山の食・文化・伝統・技・デザインなどの魅力を最大限に多くの人々へ発信されています。

今回同社は、来年10月実施される消費税の軽減税率制度を見据え、複数税率に対応したPOSレジシステム（以下、「POSレジ」）を導入されました。その背景や導入後の様子について 総務企画部長 野村様にお話を伺いました。（以下、敬称略）

※ 本件は、『軽減税率対策補助金(A-4型 POSレジシステム)』を活用されました。



—— POSレジの刷新を検討されたのは、やはり軽減税率制度への対応がきっかけだったのでしょうか。

野村：実は、以前から入れ替えを考えていました。9年間旧POSレジを使っていましたが、すでにメーカーの保守期間が終了し修理できない可能性もあり、突然使えなくなってしまうかもしれない——という大きなリスクを抱えていました。

5年ほど前にPOSサーバの入れ替えを実施し、その際POSレジの更新も検討しましたが、コスト面でどうしても断念せざるを得ませんでした。

—— コスト面の課題を解決する策が、補助金制度の利用だったのですね。

野村：そうです。なかなか入れ替えに踏み込めないとき、HCSさんから補助金活用の紹介を受けました。

今回コスト面の課題もクリアし、ようやくシステムを刷新できた、という思いです。同時に軽減税率制度への対応もタイミングよくできたので良かったです。

—— POSレジ導入から補助金申請まで、どのようなスケジュールだったのですか。

野村：当時は2017年4月から軽減税率制度が実施される予定だったので、2017年3月までに補助金申請する必要がありました。実際にPOSレジを導入したのは2017年1

月ごろなので、導入から申請まではタイトなスケジュールとなりました。しかし制度実施日が延長され、結果的に余裕を持った準備ができ安心しています。

—— 実際に補助金の申請作業は大変ではなかったですか。

野村：申請に関する手続きを全て自社で行うことは、なかなか難しかったと思います。しかし今回はHCSさんが窓口となって取りまとめてくれたので、スムーズに申請でき助かりました。

—— では最後に、今後の課題や展望をお聞かせいただけますか。

野村：ショッピングサイトは自社で運営しており、当社の強みの一つだと考えています。今後はWeb店舗と実店舗のデータを統合し、顧客分析や付加価値あるサービスをより強化していきたいですね。

「富山」を全国に発信する。

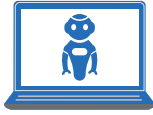


富山県いきいき物産株式会社

NEWS

1 RPAを活用しませんか?

RPAとは、機械学習や人工知能(AI)などを活用し、PC中のロボットが人の代わりに作業を行ってくれる仕組みです。



弊社は、2月13日・14日の2日間、富山・金沢・福井にて『RPA活用セミナー』を開催しました。

本セミナーでは「Autoブラウザ名人」などを紹介し、デモンストレーションにて実際にPC中のロボットが作業する様子をご覧いただきました。参加者の方々からは「実業務でのイメージがやすく、参考になった」とのお声を多数いただきました。当日は悪天候ながらも多数参加いただき、ありがとうございました。

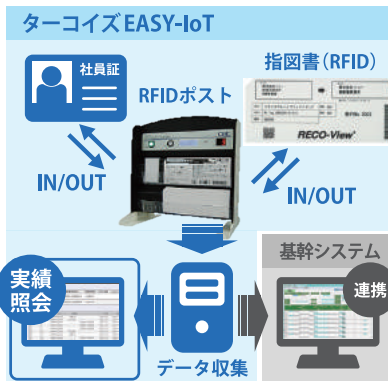


▲ 富山会場の様子

2 RFID、注目されています!

2月14日、石川県ものづくり産業等IoT化推進研究会主催の『ICT・IoTビジネスソリューションフェア2018』に、弊社からはRFIDを活用した『ターコイズEASY-IoT』を出展しました。

本サービス活用により、ポストに指図書・作業カードを挿入するだけで実績を自動的に収集でき、製造現場で作業負担となっていた実績の手書き・入力が必要となります。



人やモノの個別情報(製造年月・流通過程・検査情報など)を無線通信によって自動的に識別できるRFIDは、様々な業種・業態の作業効率化に役立つとして現在注目されています。

3 「ISMSクラウドセキュリティ認証」取得!

弊社は、国際規格に基づく安全性の認証制度「ISMSクラウドセキュリティ認証」を取得しました。これは、「弊社の提供するクラウドサービスは、適切な情報セキュリティ管理がされており、安心して利用できるサービスである」ことを証明しています。(*)

弊社は今後も情報セキュリティの継続的改善に尽力し、皆様に安心・安全なクラウドサービスを提供してまいります。

登録サービス

- ① 「Oens クラウドホスティング」
- ② 「Oens クラウド BizBox」
- ③ 「Oens クラウド Backup」

認証マーク



情報サービスセンター
富山センター
運営統括グループ

※ 詳細は、情報マネジメントシステム認証センター(ISMS-AC)のホームページ「<https://isms.jp/index.html>」をご覧ください。

HCSのよこが



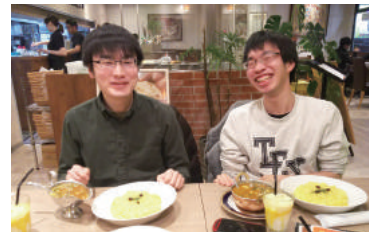
システム本部
ソリューションシステム部

Q. 現在の業務内容は?

『ターコイズ販売管理システム』をお客様の業務に合わせてカスタマイズしています。常に使用されるお客様のことを意識しながらシステム開発に励んでいます。

Q. 休日の過ごし方は?

大学の友人や会社の同期とよく食事にかけます。食通な友人もいるので、様々なジャンルのお店に連れていってもらいます。つい先日は本格的なカレーを食べに行きました。楽しい仲間のおかげで、仕事もオフも充実しています!



▲ 左:八尾さん、右:同期の高田さん

編集後記

2月は、何と言っても平昌オリンピックが話題の中心でした。筆者も毎日手に汗握りテレビの前で観戦し、どの競技も感動しました。

次はいよいよ、2年後の東京オリンピックですね。もちろん競技観戦も楽しみです。せっかく多くの外国人が訪れるので日本の魅力・北陸の魅力を十分に感じて欲しいです。きっと、本号でご紹介した富山県いきいき物産様が運営するアンテナショップを訪れる多くの方が、富山の魅力を実感されることと思います。今から楽しみです。(松尾 瞳)



北陸コンピュータ・サービス株式会社

営業本部 ソリューション創造推進室

〒939-2708 富山市婦中町島本郷 47-4
TEL (076)495-9824 FAX (076)495-9843
URL; <https://www.hcs.co.jp>

 ISO27001 11820044(10)	 MSA MSA-1S-71 ISO-1527001:2013	 MSA MSA-OS-3700 ISO9001:2015	国保連合会サービス 情報サービスセンター 富山センター 金沢センター	システム本部 情報サービス本部 SIビジネス本部 金融ビジネス本部
------------------------------	--	--	---	--